

Q 42 近年，大学入試においても受験生の能力・適性を丁寧に見るための取組が行われていると聞きますが，各大学の取組はどのようになっているのでしょうか？

A 近年，各大学の大学入試においては，受験生の能力・適性を多面的に判定する方向で工夫改善が行われています。

各大学では，大学入試センター試験の利活用，面接，小論文，実技検査，リスニングの実施，推薦入学，帰国子女・社会人等を対象とする特別選抜の導入など，選抜方法の多様化，評価尺度の多元化の取組が進められています。

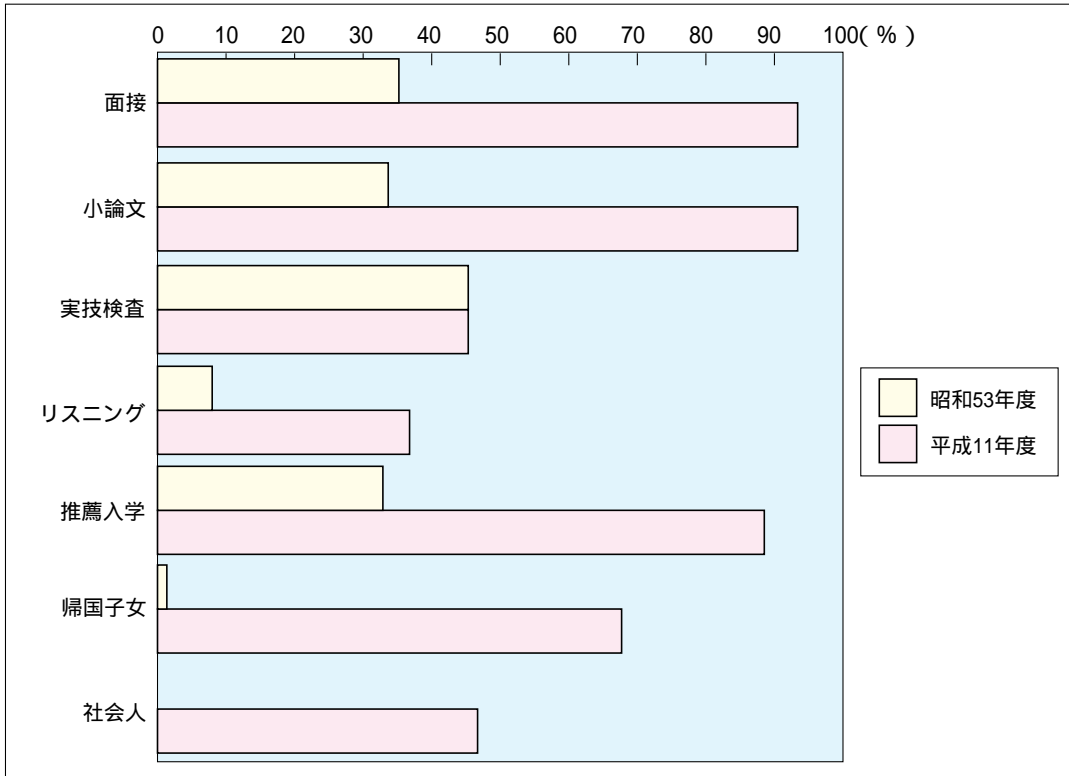
また，近年，一部の大学においては，アドミッションオフィス入試と呼ばれる新たな試みを行っています。

これは，大学が望む学生像を出願資格として明確に示した上で，志望理由書やエッセイなど多様な出願書類を提出させ，詳細な書類審査と丁寧な面接等を組み合わせることによって，大学での勉強の意欲と能力，目的意識などを総合的に判定し，進学希望者と大学とのより良いマッチングを目指すといった特色を有するものです。

国立大学においても，平成12年度入試から東北大学，筑波大学及び九州大学の3大学がアドミッションオフィス入試を導入することになっています。

国公立大学個別学力検査等の改善状況

	面接	小論文	実技検査	リスニング	推薦入学	帰国子女	社会人
昭和53年度	35.0%	33.3%	45.0%	7.5%	32.5%	0.8%	0.0%
平成11年度	93.6%	94.2%	44.9%	36.5%	88.5%	67.9%	46.8%



国公立大学の状況 [昭和53年度 (共通第一次学力試験導入前) と平成11年度の比較]

(数字 (%) は当該年度における全大学数に占める比率を示す)